

1 住基カードの考え方

電子政府・電子自治体の基礎

住民サービスの向上

住民の利便性の向上

市区町村事務の効率化

2 住基カードの機能

(1) 写真付きのものは、公的な証明書として利用できる

(2) 市区町村における本人確認に利用できる

→ 住民票の写しの交付や転入等の際の本人確認(市区町村)
住基カードの提示による割引やポイント加算(民間企業、事業者)

(3) 電子申請に使われる電子証明書(公的個人認証サービス)の格納媒体として利用できる

(4) 証明書等自動交付、印鑑登録証、図書館カード等に利用できる

→ 市区町村でのワンカード化

3 住基カード普及のための取組方策

(1) 住基カードの交付手数料の無料化

○住基カードの交付手数料を無料化する市区町村に対して、平成20年度から22年度の3年度間に限り、1枚当たりの特別交付税額を1,500円とする(現行1,000円 + 追加500円)

(2) 電子政府・電子自治体の推進に向けた連携

- e-Tax や eLTAXの推進
- 自動車保有関係手続等オンライン手続の普及推進
- 住民票の自動交付や公共施設予約等の市区町村の取組みの普及推進

(3) 住基カードの多目的利用の推進

- 多目的利用推進セミナーの開催(全国5ブロック他)
- 多目的利用実践の手引きの作成・市区町村への配布

(4) 住基カードや住民票等の交付受付・交付機会の拡大等住民の利便性の向上

- 住民票等のコンビニ等での交付について検討
- 休日や時間外での受付・交付の拡大

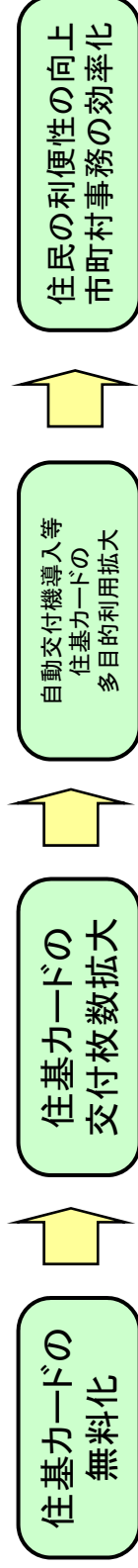
(5) 広報等による周知・啓発

- 市区町村の広報誌(紙)、ポスター等の掲示、パンフレット等の 配布による周知・啓発
- 現在、e-Taxに連動し、テレビ・ラジオ・雑誌等による広報実施中

住民基本台帳カードの交付手数料の無料化に対する財政措置等について

1. 趣旨

- 住基カードは、電子政府・電子自治体の基礎
- 住民サービスの向上、住民の利便性の向上、行政事務の効率化に資するもの
- 住基カードの普及が進んでいる市区町村は、印鑑登録証との共用化や高齢者福祉のための交付等を契機として、住基カードの交付手数料を無料化
- 総務省としても平成20年度より無料化に向けた新たな財政措置を実施



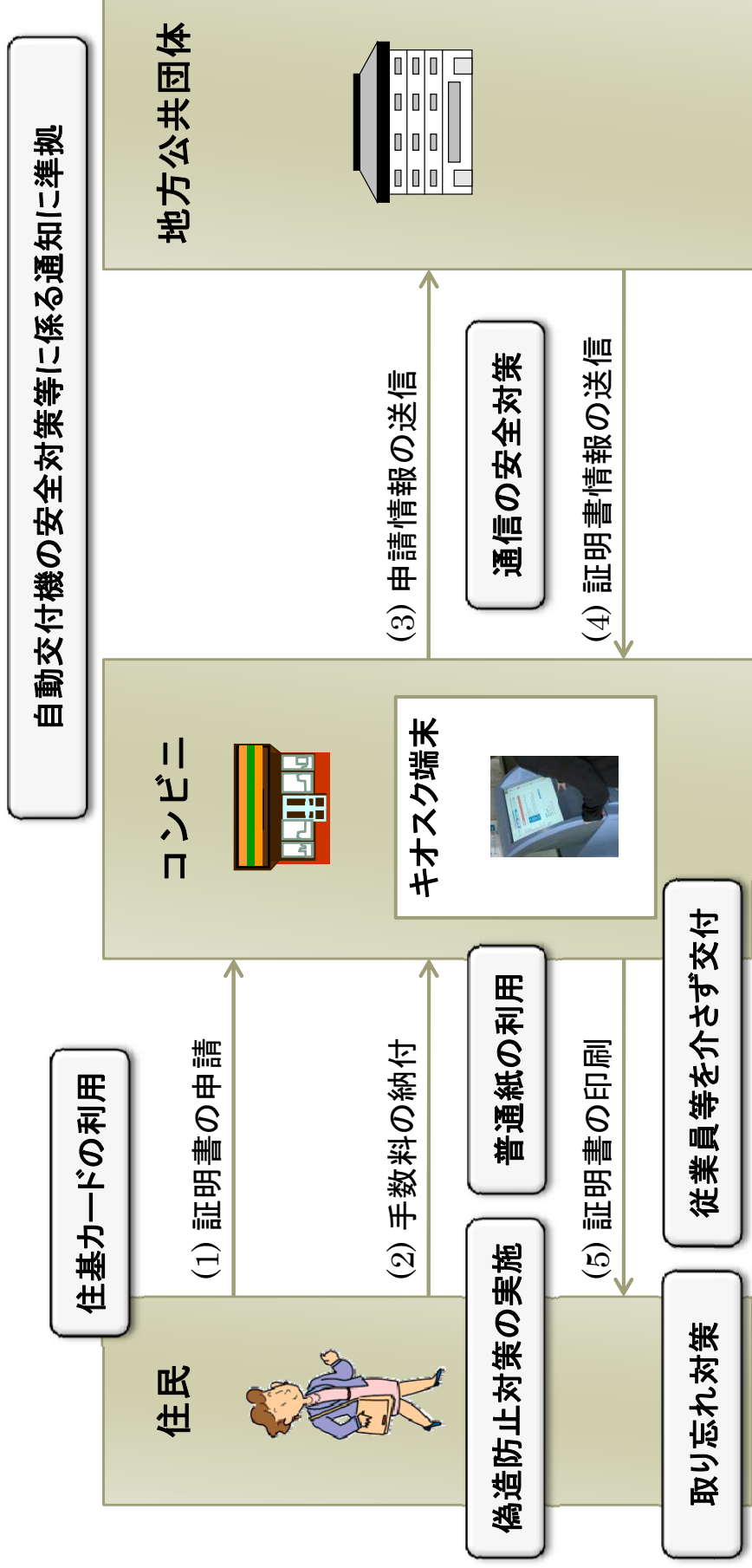
2. 無料化に向けた新たな財政措置

- 特別交付税措置の拡大
住基カードの交付手数料を無料化する市区町村に対して、平成20年度から22年度の3年度間に限り、1枚当たりの特別交付税額を、
1,500円
とする(現行1,000円 + 追加500円)

<参考>

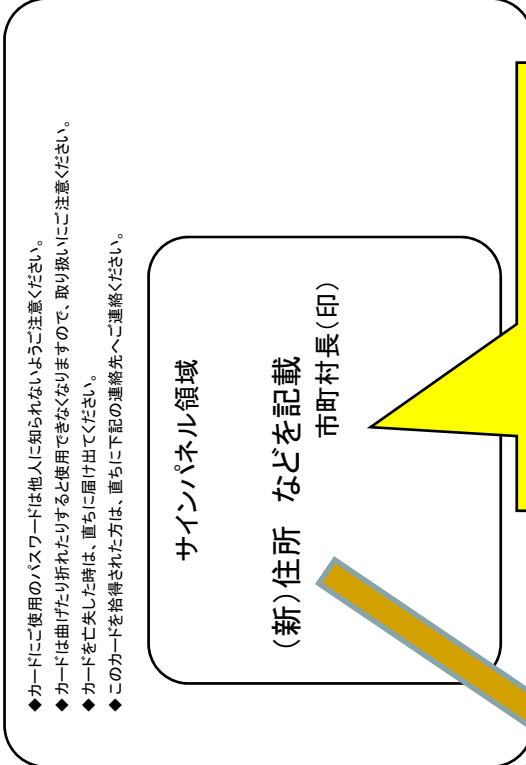
住基カード発行に係る通常経費(給与費や需要費等)については普通交付税により包括的に措置

コンビニにおける住民票の写しの交付（イメージ）



先進自治体において2009年中に実現し、速やかな全国普及を目指す。

引越しても住民基本台帳カードが失効しない仕組み(案) ～ 裏書きと不正記載防止対策～



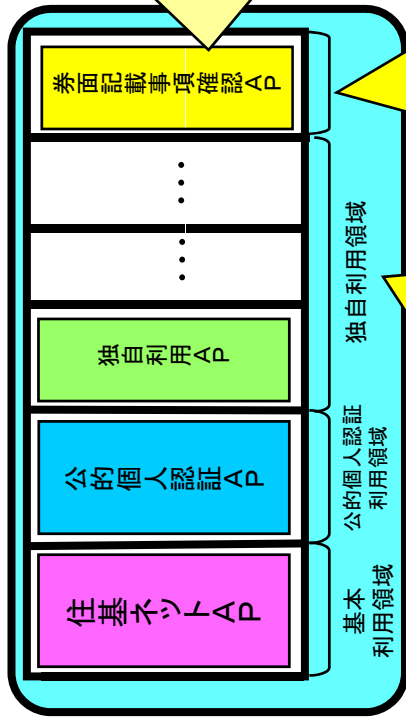
- ◆カードご使用のパスワードは他人に知られないようご注意ください。
- ◆カードは曲げたり折れたりすると使用できなくなりますので、取り扱いにご注意ください。
- ◆カードを亡失した時は、直ちに届け出てください。
- ◆このカードを拾得された方は、直ちに下記の連絡先へご連絡ください。

- カード裏面に(新)住所等を裏書きする。
- 公印を押す

裏書きされたカードは、
新市町村が交付したものとみなす。

氏名
生年月日
性別
(新)住所
写真
有効期限

不正記載防止のため
ICチップに記録



券面記載事項確認領域を新たに設定

市町村の異動があった場合の書換の方式を検討

住民基本台帳カードの偽変造防止対策

(1) 偽変造の手口

① 券面の改ざん(変造)

〔 正規の住基カードの券面を
不正加工 〕

② にせ住基カード(偽造)

〔 単なるプラスチックカード
を住基カードに似せて印刷 〕

(2) 偽変造防止対策

- 券面に背景画像を入れることでカード表面に印字された氏名などを不正加工しにくくする (H17.1.21通知)
- 住基カードの交付手続の厳格化、警察当局との連携強化 (H16.9.28通知)
- 更なる対策を検討中

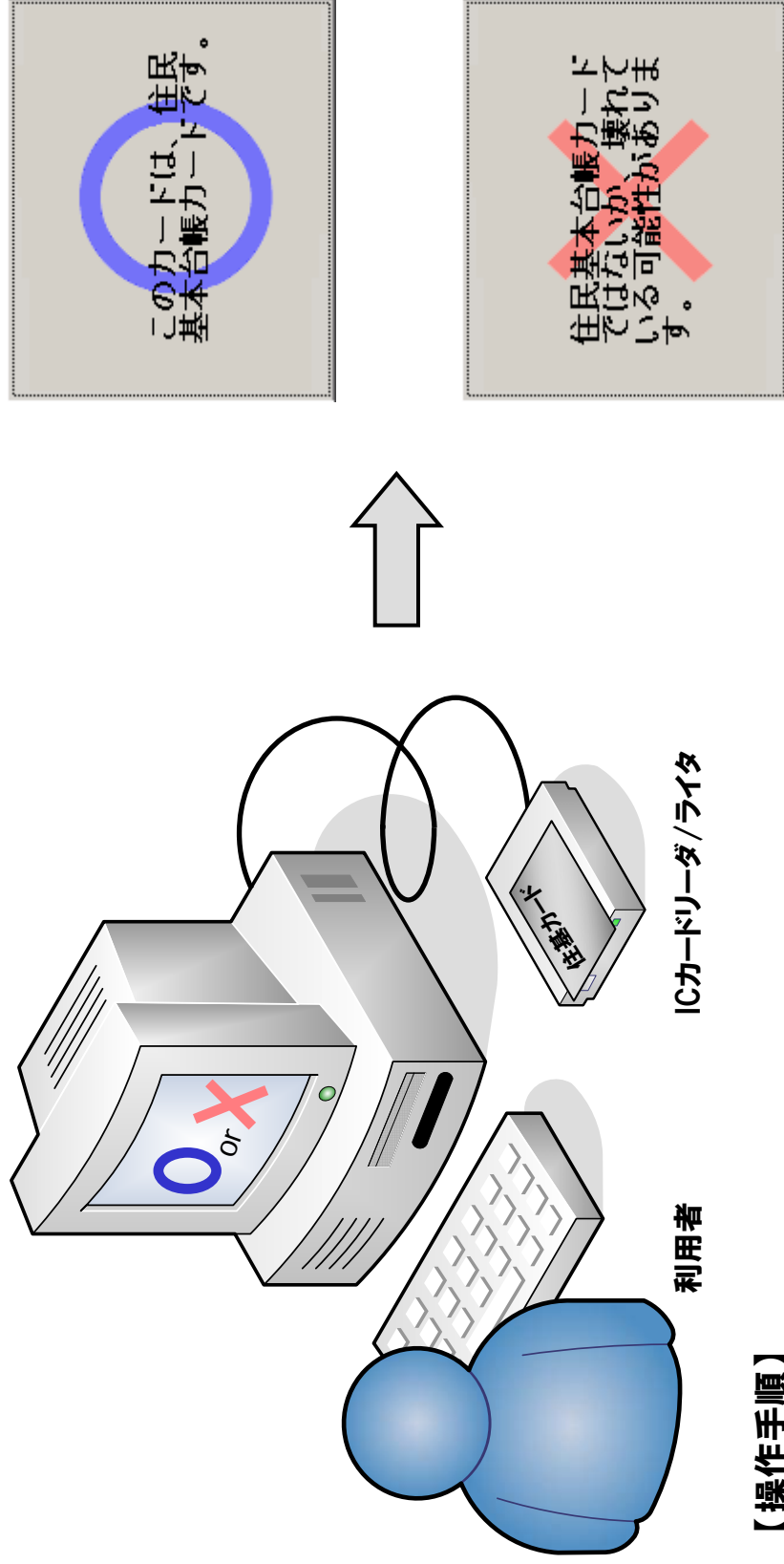
- 住基カードのICチップを判定するソフトウェアの配付

※ これまでICチップを偽造・改ざんされたものはない

- IC運転免許証と同等の偽造防止対策を検討

住民基本台帳カード・ICカード判定ソフトウェアの画面イメージ

◆住民基本台帳カード・ICカード判定ソフトウェアの画面イメージと操作手順



【操作手順】

- ① ICカードリーダー/ライターにカードを置く。
- ② 「判定開始」ボタンを押下する。
- ③ 判定結果とガイドメッセージを確認する。